

意見交換の場の開催結果概要について

1 概要

(1) 日時，来場者数

【オープンハウス】

令和4年9月11日（日） 午前10時～午後0時10分（来場者35人）

令和4年9月12日（月） 午後6時～午後8時（来場者11人）

【意見交換の場】

令和4年9月11日（日） 午後1時～午後3時5分（来場者数43人）

(2) 場所

調布市立滝坂小学校

(3) 対象者

地盤補修工事箇所の周辺にお住まいの方

2 意見交換の場での住民意見

【オープンハウスのやり方について】

- ・外環被害住民連絡会との面談の約束は反故にされている。今回の意見交換の場は地域からの共通意見（総意）として会が求めていたものとは認めない。
- ・（上記意見に対して）勝手に地域の共通意見としないでほしい。そう思っていない住民もいる。
- ・今回のオープンハウスの開催案内チラシはどの範囲に配布しているのか。東つつじヶ丘1丁目にも説明するのか。
- ・オープンハウス開催のお知らせが急すぎる。もっと前もって教えてほしい。
- ・地域に対する周知はしっかりしてほしい。

【今後の検討の進め方について】

- ・この説明の場をもって全体を進めるのか。
- ・今回の案はたたき台だと思っている。詳細をこれから何回かかけて詰めていかないといけない。
- ・実際住民にどのような影響が出るかという視点がない。これでは納得できない。
- ・説明が具体的でないのであまり実感がわからない。これで説明したと思わずに、時間をかけて丁寧な説明を求める。
- ・地盤補修工事範囲内でブロックごとに住民にヒアリングをしてほしい。
- ・全体計画と言いながら材料運搬方法の説明をしている。地盤補修の前提として買取や解体などの説明があるべきであり、解体/補修工法/実工事/環境への評価など、プロセスごとに説明の場を持つべき。
- ・今日の1時間半だけでは住民が納得したことにはならない。

【地盤補修工事について】

- ・ボーリング調査で大きな負担を感じた。地盤補修を400本もやると考えると非常に大きな騒音・振動が想定されるが、その対策は。
- ・地盤補修によって地下に大きな堤防ができることになり、地下水に影響がでる可能性がある。陥没事故の二の舞にならないよう工事着手前に綿密に調査すべき。
- ・地盤補修範囲ではまだ8件しか空き家になっていない。全員空き家になってからでないと地盤補修はすべきではない。
- ・地域の高齢化も進んでいるため早期に進めてほしい。

【地盤補修工事の搬入ルート案(ケース1～4)に対する意見】

- ・本日晒された計画は具体的ではない。車両の交通量等を具体的に説明すべき。
- ・地域に30～40台/時の車両が流入するのは現実的ではない。
- ・交通量を減らすために管路で運搬するというのはいいと思う。
- ・解体の時などはトラックの出入りがあると思うが、地域の公平性のため通るルートを分散して欲しい。
- ・交通量が増えると事故の危険性が増すため非常に懸念している。
- ・工事時間について登校時だけでなく下校時間にも配慮をしてほしい。
- ・松原通りは利便性がよく交通量も多い道路だが、ここに工事車両が多く通行する影響を考えているか。
- ・河川に配管する案の場合、豪雨の時の対策はどう考えているのか。
- ・国道の共同溝の工事でもかなり振動・騒音があったため心配だ。地域への説明が必要。

【その他】

- ・事業者の案に反対するのなら、代案を出したらどうか。
- ・仮移転を決断できない理由は、公共工事としての税制を適用できないからだ。
- ・謝罪と補修だけで済ますのではなく、プラスになるようなことも一緒に示してほしい。
- ・地盤の緩みについて、今後も調査すると書いてあるが、5年後、10年後の将来における調査計画も示してほしい。
- ・都市計画道路3・4・10号線を含め、大きなビジョンで考えてほしい。